



# マヨネーズの地盤に七千トン

「普天間飛行場の替わりに国が名護市辺野古に米軍基地を作る為の埋立て」の賛否を問う県民投票が二十四日に終わる。

辺野古の基地は周辺海域を埋め立てで作る。ところが北側の大浦湾の地盤は海面下九〇mまでマヨネーズ状。

アベ政権はそのマヨネーズに穴を掘り、砂を詰めて固め、砂杭という砂の柱を作るとい

う。そこに、七千トンもある護岸のコンクリートの大きな箱、ケーソンを載せる。

地震になったら

砂の柱の周りはマヨネーズ。重いケーソンを載せたら載せただけで崩れないか？地震があったらマヨネーズと砂の柱は一緒に液状化？ケーソンが大浦湾の深みにこぼれ落ちるの

オチではないか。

出来ないけど

アベ政権はトランプに尻尾を振って、辺野古にどうしても基地を作りたい。そこで、ゼネコンに「出来る」という机上のプランを出させているだけでは？

世界中でそんなに深い所の工事の実績はない。作業する船もない。

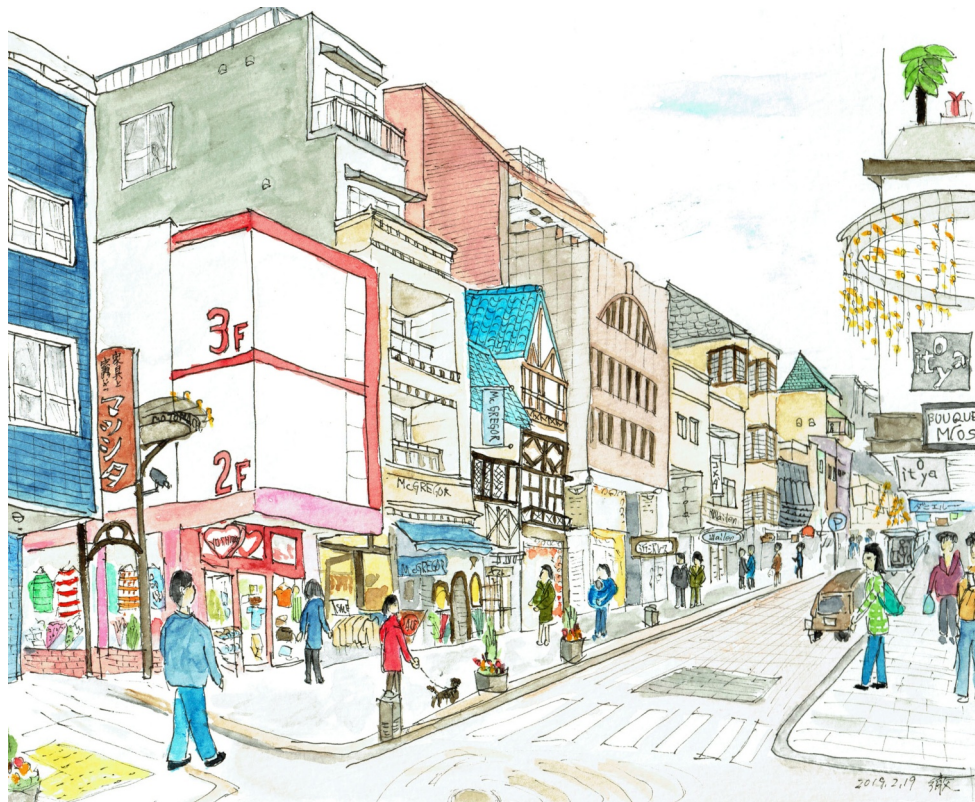
実際の工事になったら「鉄の杭を打つ」とか「湾底全体をセメントで固める」等と言いつすのでは？

防衛省の計画では埋立て工事全体が二四〇〇億円の筈。沖縄県によれば、これまでの護岸建設の費用が当初予算の十倍になっているので二兆円以上もかかるという。更に何倍にもなるのでは？  
あなたはどう思われますか？

## 元町

横浜市中区元町四丁目

二〇一九年二月



元町と云えば横浜で最もお洒落な街だった。開港当時、丘の上の外国人居留地と、関内の商業地域の間にあつたので、外国人が必要とする様々な品を提供してきた。

外国人向けの西洋風の家具は、やがて「横浜家具」として日本人にも人気を博した。

お菓子の不二家は元町発祥。パンは今でも「うちきパン」がある。「近沢レース店」もある。おしゃれな帽子店もあった。廉売りチェーンが進出しているが、今でもハマトラ、ハマカジという元町ブランドの香りが漂う。

一方、庶民向けだったのが野毛商店街、伊勢佐木町。

そこも、砂利置き場や造船所だった横浜駅周辺や「みなとみらい」と苦しい戦いを強いられている。

